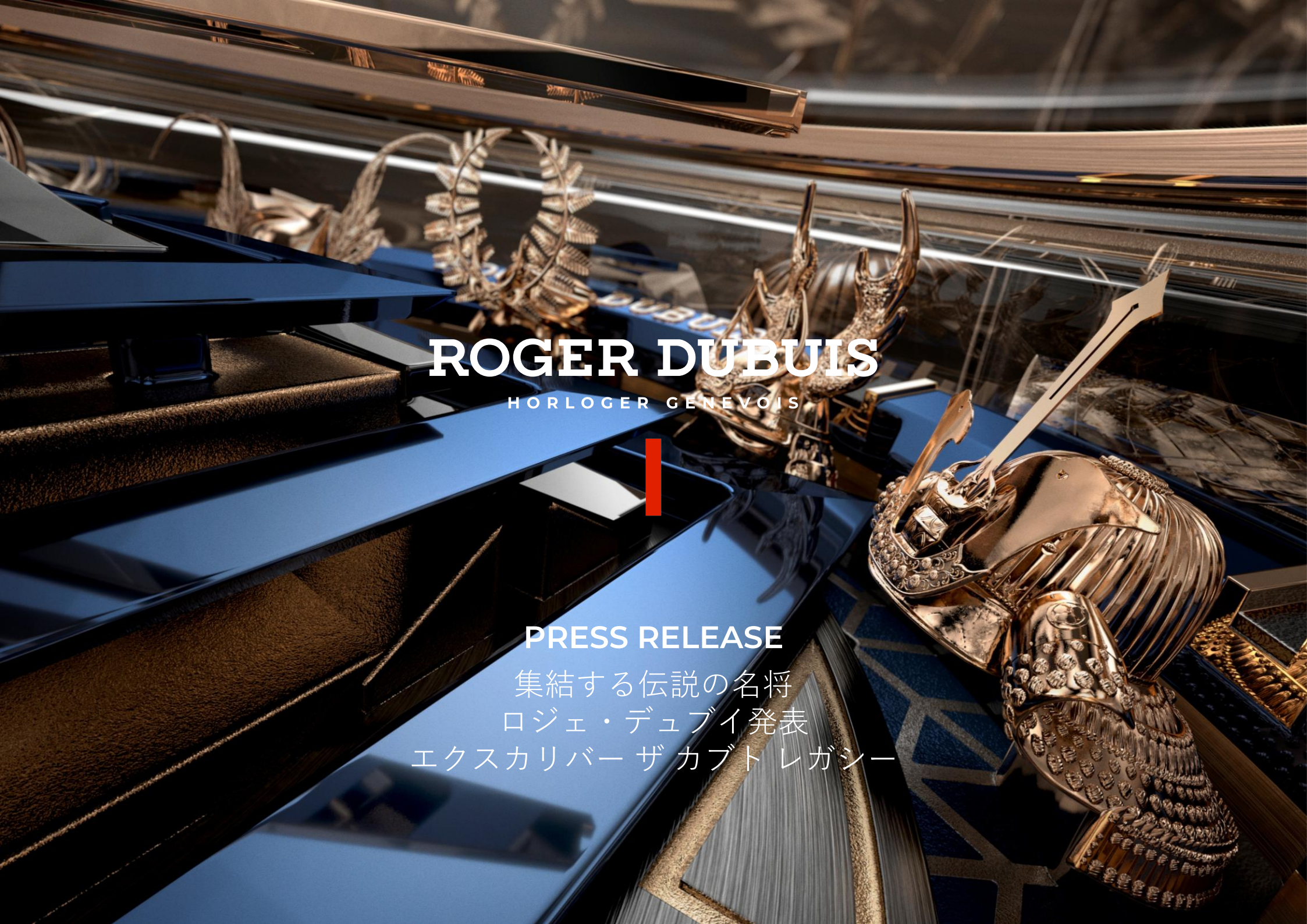




ROGER DUBUIS

HORLOGER GENEVOIS

PRESS RELEASE

集結する伝説の名将
ロジェ・デュブイ発表
エクスカリバー ザ カブト レガシー

一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

17世紀、日本が統一と結束へと向かった象徴的な一幕に光を当てるロジェ・デュブイ。

卓越した時計製造技術とメティエダールの技巧を通じて、当時の文化的象徴である江戸城、そして兜と家紋により表象された12人の武将を表現しました。

その心臓部にはジュネーブ・シール認証を受けた自動巻きキャリバーRD821を搭載し、メゾンならではの大胆な表現を可能にしています。

侍の文化と磨き上げられたメティエダールが結実したエクスカリバー ザ カブト レガシー。ロジェ・デュブイは本作を通して、オートオルロジュリーを日本史の奥深き世界へと導きます。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説



一味同心

この新作は、絶え間ない戦乱により国土が分断されていた、17世紀を迎える頃の日本から着想を得ています。各地の武将たちは飽くなき野望を胸に、天下の覇をめぐる争いを繰り広げていました。

やがて、三人の卓抜した武将の台頭により長き混迷は収束へと向かいます。各地の武将たちが束ねられることで、新たな道筋と政治秩序の基盤が築かれていきました。彼らが示した先見性と不屈の意志は統一と平和の礎となり、その後、日本は250年以上にわたる繁栄の時代を迎えます。江戸城は再編された社会の象徴的な中心となりました。

本タイムピースの構想にあたり、ロジェ・デュブイは結束を象徴する日本古来の車座の精神に呼応し、乱世が長きにわたる調和へと転じた、まさにその瞬間を表現しています。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

兜という表象

変化する日本の世において、国の統一を成し遂げた武将たちは、それぞれが持つ兜によってその存在を示していました。兜は、儀礼用であり、かつ身を守るためのもので、彼らの家系、哲学、そして大志を表明する役割を果たしていたのです。

同時に兜は、精緻なクラフツマンシップを体現する存在でもあり、この壮大な歴史絵巻とロジェ・デュブイが誇るオートオルロジュリーの卓越技巧を結びつける、本質的な軸を成しています。メゾンは、日本がたどったこの歴史へオマージュを捧げるべく、12人の名だたる武将の兜を文字盤上で再解釈しました。



精緻を極めるメティエダールの技巧を駆使した18Kピンクゴールドの兜は、マイクロスカルプチャーによって忠実に造形され、それぞれに宿る固有の象徴性と、手彫りによる緻密なディテールを浮かび上がらせています。その造形は、一つひとつ熟練職人の手により2〜3日間の作業をかけて仕上げられます。なかでも最も繊細な工程となるのが、兜の正面を飾る「前立」（まえだて）です。これはそれぞれの武将の表象であり、その存在を視覚的に示す意匠でもあります。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

立ち現れる武将の精神

円は12時位置から、日本統一の礎を築いた立役者である将軍、徳川家康から始まります。彼の兜には成功と長寿を象徴するシダの意匠があらわれています。

徳川家康のもとで幾多の戦いに臨んだ伝説的な武将たち。そのなかでも、とりわけ傑出した4人は後に「徳川四天王」と称されるようになり、文字盤上にもそれぞれ布陣しています。

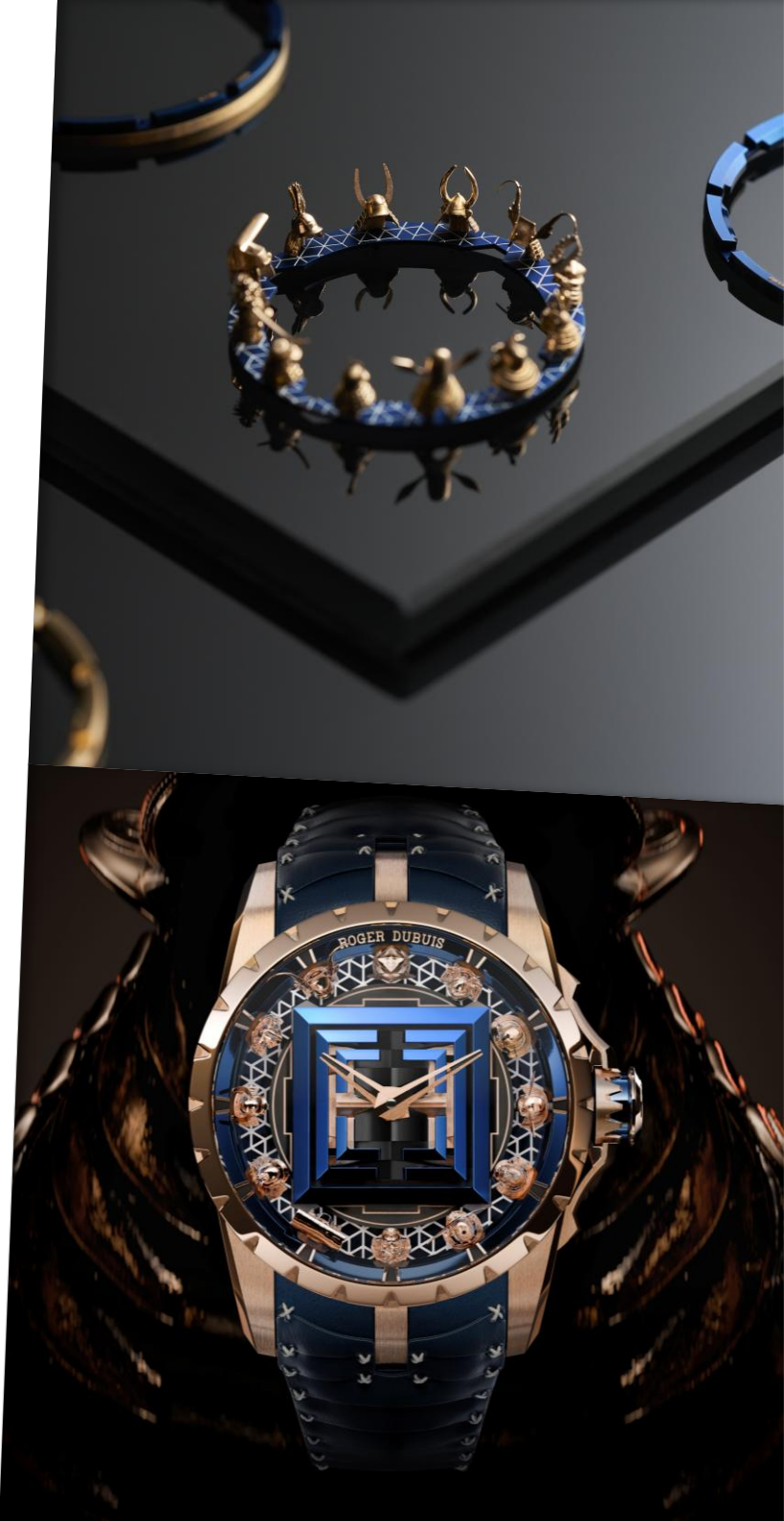
1時位置に配されたのは、徳川家康への忠義で名高い武将、本多忠勝。その高潔な人柄は、後世にわたり人々の道徳的規範を示すものとなりました。彼の兜には、神の加護をもたらすものとして鹿角の意匠が施されています。

2時位置には、酒井忠次が配されています。名高い知略と戦場での武勇を兼ね備えた古参の重臣であり、徳川家の基盤を築く一翼を担った人物です。その兜は技巧の粋を体現し、義と、邪を断ち切る精神を象徴する剣を象った前立があらわれています。

的確な判断力で名高い榊原康政は、4時位置に配されました。三鈷剣の前立を備えたその兜は、揺るぎない武徳と武士の魂、そして欺瞞を断ち切り、真実を明らかにするという精神を象徴しています。

そして9時位置に配されたのは、交渉に長けた武将、井伊直政。その兜は左右から高く伸びる天衝脇立を備え、彼の武勇を象徴しています。

さらに7人の武将が各時位置に配され、それぞれの人物を象徴する兜にて表現されています。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

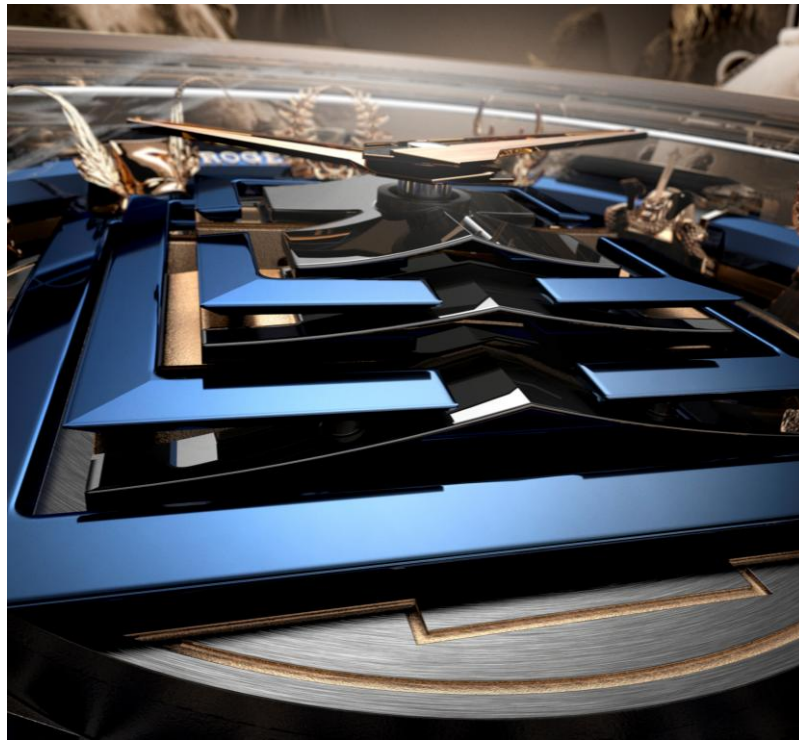
江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説



江戸城

文字盤の中央にあしらわれたのは、江戸城の建築を抽象的かつコンテンポラリーに解釈した意匠です。聳え立つ城郭を想起させる造形は、ディープブルーのコーティングで装われています。この深いブルーはかつて武士の装束にも用いられ、日本の美術や染織文化の中で受け継がれてきた藍染から着想を得たものです。幾層にも重なった構造の各面には、ポリッシュ、ブライtpポリッシュ、サーキュラーブラッシュ、ショットブラストをはじめとするさまざまな装飾仕上げが施され、城郭の外観を際立たせています。

一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

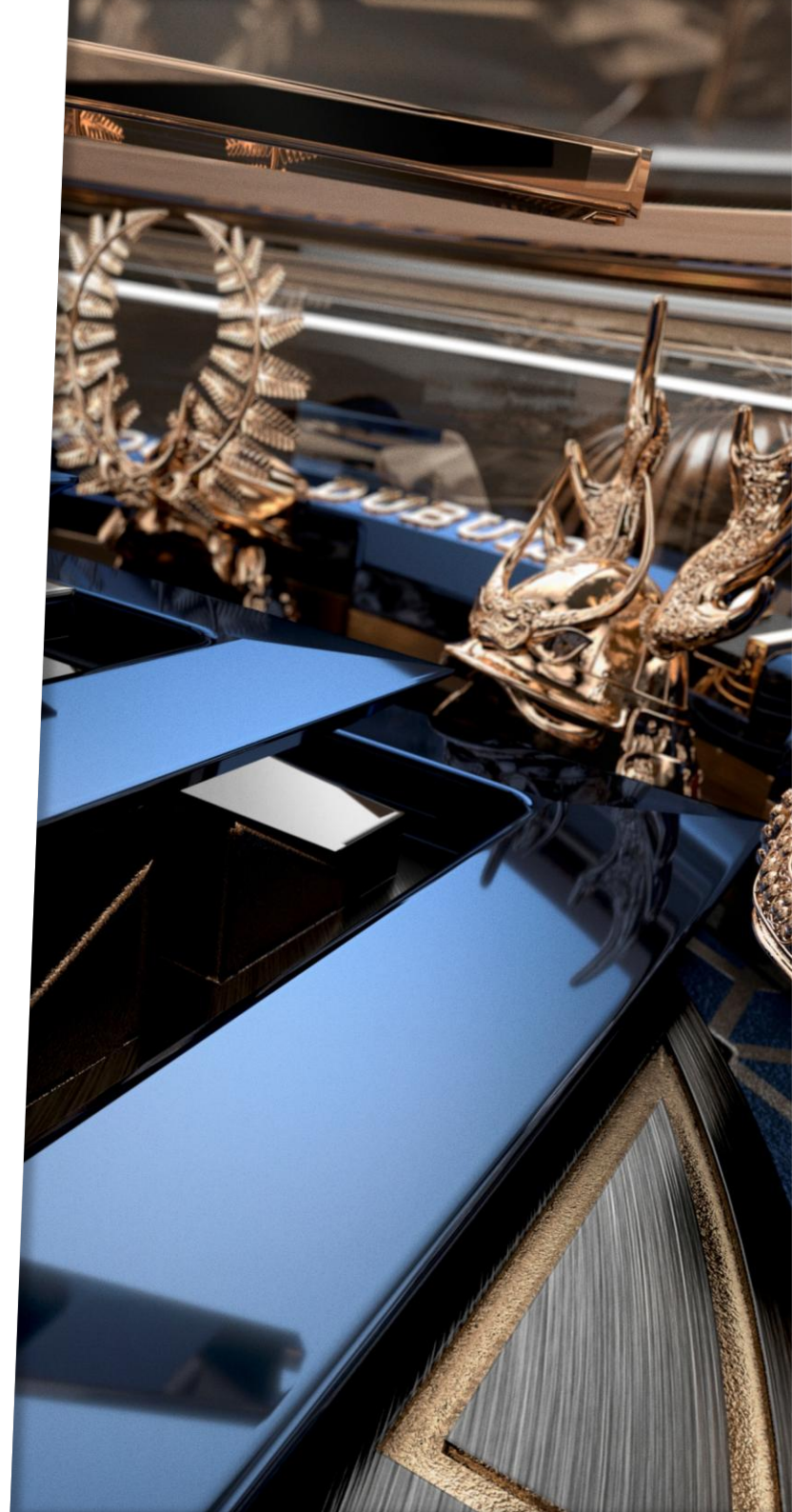
詳説



美を支えるキャリバーの妙技

全28本の限定コレクションとして発表される本作は、45mm径の18Kピンクゴールド製ケースに収められ、リューズの周囲にはブルーエナメルで彩られたリングが配されています。ブルーのカーフスキンレザーストラップには小札を思わせるステッチが施され、武士の甲冑を彷彿とさせる独創的な意匠が描き出されています。12人の武将へ捧げるオマージュは、ケースバックにも及びます。ブルーコーティングを施したピンクゴールド製リングにはそれぞれの家紋がレーザーエンレービングにて刻まれ、サファイアガラス越しにはローターがその精緻な仕上げを披露します。

本タイムピースが示す大胆な表現力。それを支えているのが、キャリバーRD821です。自動巻きムーブメントの構造が空間を生み出し、文字盤上に視線を惹きつける装飾美が展開されています。60時間のパワーリザーブを備え、14種の仕上げ技法を駆使したこの自社製キャリバーは、卓越性の証であるジュネーブ・シールの認証を取得しています。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

匠が紡ぐ芸術

本タイムピースの創作において、史実に基づく正確性と真正性を追求するため、ロジェ・デュブイは日本史学教授であり、エミー賞受賞ドラマシリーズ『Shōgun 将軍』のコンサルタントも務めたFrederik Cryns（フレデリック・クレインス）氏と協働しました。氏の専門的知見により、本作の意匠はより真正性のある表現として結実しています。

“侍の文化は、人類史上稀有な「装いの芸術」を生み出しました。名匠たちが受け継いできたクラフツマンシップの伝統が今、オートオルロジュリーの芸術と出会うことは極めて自然なことに思われます。いずれの領域にも共通しているのは、一切の妥協を許さず卓越性を追求する、その姿勢なのです。” — フレデリック・クレインス



“侍の文化は、人類史上稀有な「装いの芸術」を生み出しました。名匠たちが受け継いできたクラフツマンシップの伝統が今、オートオルロジュリーの芸術と出会うことは極めて自然なことに思われます。いずれの領域にも共通しているのは、一切の妥協を許さず卓越性を追求する、その姿勢なのです。”

一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

MORE DETAILS

CALIBRE

RD821 caliber. Automatic, self-winding. The Manufacture skillfully crafts 14 distinct finishes in-house on this RD821, including those tailored for the Poinçon de Genève certification. These finishes are meticulously applied to every surface of every single component of every caliber, creating a captivating interplay of matte and polished surfaces. This meticulous process enhances the play of light, that has become the hallmark of Geneva fine watchmaking.

Components: 172

Power reserve: 48h

Jewels: 33

4 Hz / 28'800 Vibrations per Hour

Diameter: LINES: 11' ½

Thickness: 3.5 Millimeters

CASE

Pink gold 750/1000 with sapphire crystal ring under the bezel. Open case back. Laser engraved emblems. Glass ring inside the crown.

Size: 45 mm

Water resistance : 3 BAR (30m)

Diameter: 45 Millimeters

Thickness: 16.87 Millimeters

Water resistance: 3 BAR (30m)

DIAL

17 elements composing the castle. 4 decoration techniques. 7 roof elements in pink gold with blue CVD coating. 6 roof elements in pink gold with black PVD coating. 3 building elements in pink gold. 1 flooring in pink gold with black PVD coating and lazer engraved décor

Pink gold 750/1000 ring with 12 pink gold hand engraved helmets

CVD treatment on the flange, polished



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

HAND

Hour, minute hands in pink gold, with satin brushed

STRAP

Calf leather strap, with glued and stitched leather strips.
Patina leather like used armor.
Interchangeable thanks to QRS.
Delivered with one additional leather strap.

BUCKLE

Pink gold 750/1000 cover with pink gold triple folding buckle
interchangeable with Quick Release
System

BOX

Prestige Box



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

詳説



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

12時 — 徳川家康（1543-1616）

長く続いた平和と安定の世を築いた、忍耐強き設計者。人質として、同盟者として、そして臣従する大名という立場で長い歳月を重ねた家康は、関ヶ原の戦いで勝利を収め、日本統一を成し遂げました。

1603年、家康は徳川幕府を開き、以後およそ260年にわたる政治秩序の基盤を築きました。彼の真価は軍事的な勝利だけにとどまらず、儒学的な忠誠観や身分秩序を重んじる理念を統治に取り入れ、新たな国家の仕組みを構築し、長年にわたる平和と繁栄の基盤を整えたことにあります

兜

大黒頭巾形兜・歯染葉状前立

大黒頭巾形兜・歯染葉状前立 (Daikoku Zukin-Nari Kabuto・Shida Ha-jō Maedate)

富と福德の神・大黒天の頭巾を彷彿とさせる、独特の大黒頭巾形兜。前面には、金箔を施した歯染の葉をかたどった前立が据えられています。常緑の歯染は繁栄と長寿を象徴するとされ、また大黒天を思わせる兜の造形には、豊かさをもたらす加護への願いが込められています。こうした意匠は、家康が目指した豊かで平和な世の姿を映し出しています。

家紋

三つ葉葵紋

ハート形の葵の葉を円形に3枚配した、徳川家の家紋。三つ葉葵は、賀茂社の御神紋である二葉葵に由来するとされ、徳川家の賀茂社への崇敬を示すものとされています。徳川家の葵紋は当時、特別な紋としてその使用が厳しく制限されていました。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

1時 — 本多忠勝（1548-1610）

「死をも超えた武将」。徳川四天王の一人で、生涯五十七戦無傷の逸話で知られる忠勝。
姉川、三方ヶ原、小牧・長久手、そして関ヶ原といった重要な合戦に加わり、徳川家の覇権確立に尽くしました。また戦場での武功だけでなく、その忠誠心と高潔さによって後世には徳川家臣の道徳的規範を体現する存在として語られ、名誉と実力が両立し得ることを示しました。

兜

鹿角脇立兜

鹿角脇立兜 (Kazuno Wakidate Kabuto)

武将の兜を代表する意匠の一つであり、両脇から大きく伸びる壮麗な鹿角の脇立が特徴です。伝承によると、一頭の霊鹿が家康の軍勢を導き、増水した川を無事に渡らせたとされています。忠勝はその鹿を戦神・八幡神の化身と考え、その加護を得るために鹿角を兜に取り入れたと伝えられています。軽量化のため、鹿角の脇立は和紙を貼り重ねて漆で仕上げたものとされ、迅速かつ果敢な行動を象徴しています。

家紋

本多立葵紋

本多家を象徴する家紋。主家・徳川家の三つ葉葵とは異なり、葵を立てた意匠を特徴としています。その直立した姿は、主君に尽くす揺るぎない忠誠心を思わせます。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

2時 — 酒井忠次（1527-1596）

徳川四天王の長老格。忠次の知略は、織田信長との緊張をはらんだ同盟関係や、信長の死後に続いた複雑な政局を乗り切るうえで、家康の大きな力となりました。

その行政手腕は戦場での武勇を補い、徳川家の統治基盤の形成にも貢献しました。関ヶ原の戦いを迎える前に没したものの、その功績はのちに関ヶ原での勝利を支える忠義に厚い徳川家臣団を形づくりしました。

兜

三十八間金覆輪筋兜・剣形前立

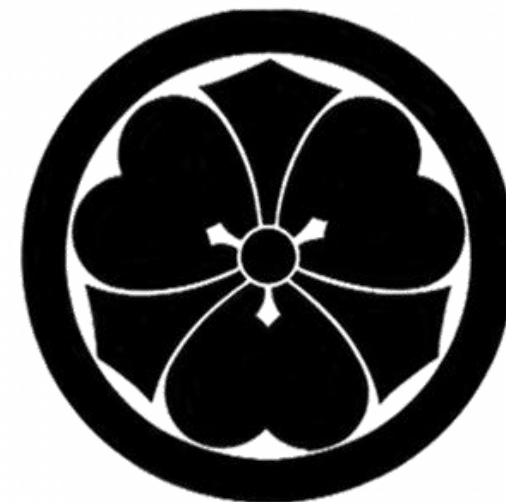
三十八間金覆輪筋兜・剣形前立（Sanjūhachi-ken Kin-Fukurin Suji-Kabuto・Ken-Nari Maedate）

38枚の縦長の鉄板を放射状に矧ぎ合わせ、各筋に鍍金した覆輪を施した堂々たる兜。筋兜は日本の兜制作技術の粋を体現するものであり、剣形の前立は正義と悪を決然として断ち切る力を象徴します。この組み合わせは武将であると同時に、信頼厚い助言者でもあった忠次の二つの役割を示しています。

家紋

丸に片喰紋

日本の十大家紋の一つに数えられる片喰紋の一種で、円の中に片喰（カタバミ）の葉を配した家紋。片喰は粘り強い生命力で知られ、代々にわたる子孫繁栄を象徴します。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

3時 — 水野勝成（1564-1651）

徳川家康の従弟。勝成は天下統一に向けた一連の戦いを通じて武功を挙げました。関ヶ原合戦では大垣城の抑えにあたる部隊を指揮し、東軍の勝利後、同城の降伏を受け入れました。

戦乱から平和へと時代が移り変わるなか、87年近い生涯を送った勝成は動乱の過去と安定した時代とを結ぶ生きた架け橋となり、新たな秩序を築いた者たちの不屈さを示す証となりました。

兜

黒漆塗唐冠形兜・黒漆塗颯（獅嚙）前立

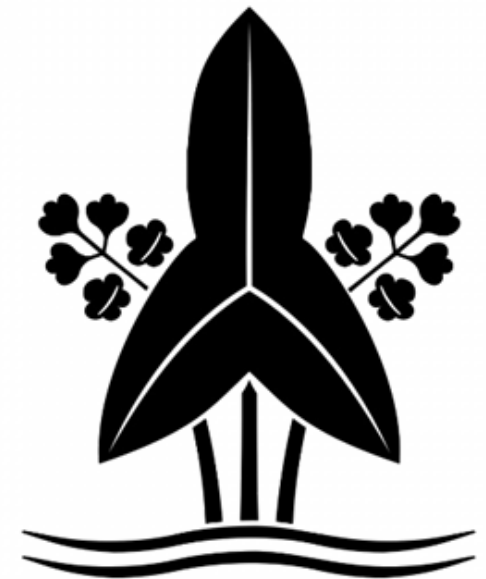
黒漆塗唐冠形兜・黒漆塗颯（獅嚙）前立 *(Kuro Urushi-Nuri Tōkan-Nari Kabuto · Kuro Urushi-Nuri Shigami Maedate)*

凄みのある漆塗りの木製獅嚙を前立に備えた、威厳ある黒漆塗の唐形兜。獅嚙は魔除けの力と、戦場で勝利をつかむための猛々しさを象徴します。端正な唐冠形と勇猛な前立とのバランスが、品格と力強さを併せ持つ佇まいを生み出しています。

家紋

沢瀉紋（水野沢瀉紋）

水田や池沼に生える沢瀉の葉と花を図案化した家紋。葉が鍬に似ていることから沢瀉は「勝軍草」とも呼ばれ、武人たちに好まれました。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

4時 — 榊原康政（1548-1606）

揺るぎなき守護者、徳川四天王の一人。関ヶ原の戦いに向かう途上、康政は徳川秀忠軍に従って上田城攻めに加わり、秀忠を守る重臣として軍を支えました。康政の揺るぎない忠誠心と的確な判断力は、数十年にわたる戦乱を家康が生き抜くうえで欠かせない支えとなりました。康政はその生涯を通じて、真の強さとは最も大切なものを守ることにあり、という信念を体現しました。

兜

三鈷柄剣前立

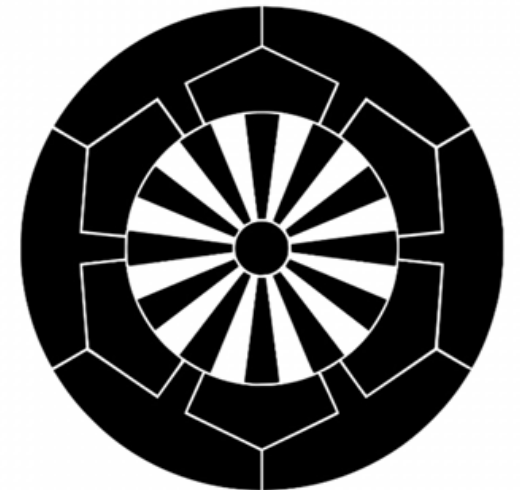
三鈷柄剣前立 (Sankozuka Ken)

三鈷柄剣をかたどった前立を備える、優美な兜。剣は武徳と武士の魂を象徴し、冷静な判断力と揺るぎない忠誠心で知られた康政の人物像と重なります。まっすぐに伸びる剣の姿はそうした資質を象徴し、欺瞞を断ち切って真実を明らかにする力を表しています。

家紋

源氏車紋

中心から放射状に輻が伸びる、車輪の意匠を特徴とする家紋。回り続ける車輪は絶え間ない動きと尽きることのない忠勤を、揺るがない中心は変わらぬ忠義を象徴しています



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

5時 — 伊達政宗（1567-1636）

北国の「独眼竜」。天下統一を決した主要な戦いに本格的に加わるには若かったものの、政宗は徳川方の東北方面を固めました。関ヶ原の戦いでは東北で敵対勢力と戦い、西軍への増援を阻みました。

仙台藩主として、政宗は日本有数の豊かな藩を築き、海外との外交も進めました。その歩みは、自らも実現に寄与した平和のもとで花開いた文化を体現するものでした。

兜

三日月形前立兜

三日月形前立兜 (Mikazuki-Nari Maedate Kabuto)

端正な黒塗りの兜に壮麗な金色の三日月形の前立を掲げた、武士の兜を象徴するひとときわ名高い造形。政宗の父・輝宗が、日輪の軍旗と対になるよう考案したと伝わります。左右非対称の三日月は、刀を振るう側が短く、動きを妨げにくい形になっています。天上の加護を象徴しつつ、戦場での実用性も備えた意匠が特徴です。

家紋

竹に雀紋

しなやかな強さと繁栄を象徴する、竹と雀を配した家紋。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

6時 — 板倉勝重（1545–1624）

民政秩序の礎を築いた行政官。勝重は江戸町奉行を経て江戸幕府の初代京都所司代となり、泰平の時代の都市行政を支える基盤を築きました。朝廷や仏教寺院との関係を調整しつつ思慮深く京都を治めることで、徳川の統治が安定をもたらすことを示しました。その功績は武功ではなく行政にありましたが、武功に劣らず不可欠なものでした。

兜

鳥毛付頭形兜

鳥毛付頭形兜 (*Torige-tsuki Zunari Kabuto*)

印象的な鳥の羽根飾りが施された実用的な頭形兜。羽根は俊敏さと鋭い洞察力を思わせ、江戸町奉行や京都所司代を務めた勝重の人物像とも重なります。無駄のない形状の兜鉢は、単なる戦場の榮譽ではなく、統治に求められる実践的な知恵を象徴しています。

家紋

板倉巴紋 / 九曜巴紋

九つの「左三つ巴」を九曜の形に配した家紋。中央に大きな「左三つ巴」を一つ置き、その周囲を八つの小さな「左三つ巴」が囲みます。巴は流れる水を表す、勾玉のような形の渦巻き文様です。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

7時 — 黒田長政（1568-1623）

伝説的な軍師・黒田官兵衛の子である長政は、戦場でも外交でも並外れた力量を示しました。関ヶ原では勇戦したほか、西軍総崩れのきっかけとなった小早川秀秋の寝返りを促す交渉でも、決定的な役割を果たしました。

父が秀吉の天下統一に尽力したのに対し、長政はその体制を崩す一翼を担い、より長く続く新たな秩序の形成に貢献しました。福岡藩初代藩主として、その後何世紀にもわたって栄える藩の礎を築きました。

兜

銀箔押一の谷形兜

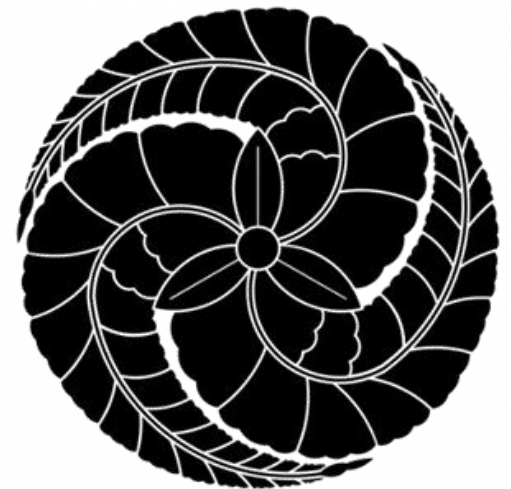
銀箔押一の谷形兜（Ginpaku-Oshi Ichinotani-Nari Kabuto）

源義経の伝説的な「逆落とし」の逸話で知られる一の谷の戦いを想起させる、ひときわ独創的な変わり兜。銀箔を施した檜板が、切り立った断崖をかたどっています。福島正則所用の兜をもとにしたものとされ、和解の証として交換されたと伝えられています。関ヶ原の戦いで長政が着用した兜として知られ、大胆かつ果断な行動の精神を象徴しています。

家紋

黒田藤巴紋

三つの藤の花房を円環状に配した黒田家の藤巴紋。垂れ下がる藤の花房は、気品と代々受け継がれてきた家の歴史を思わせます。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

8時 — 細川忠興（1563–1646）

洗練された文化的感性を備えた武将・忠興は、当代屈指の師たちのもとで剣術と茶の湯の双方を究めました。関ヶ原では東軍のために奮戦、その一方で愛妻ガラシャは西軍の人質となることを拒み、家臣に自らを討たせました。

後に細川家の領国となった熊本は、文化と繁栄の中心地となりました。忠興は、戦国から泰平の世へと移る時代を象徴する、武人であると同時に教養ある領主でもある姿を体現しました。

兜

黒漆塗頭形兜・鳥毛頭立

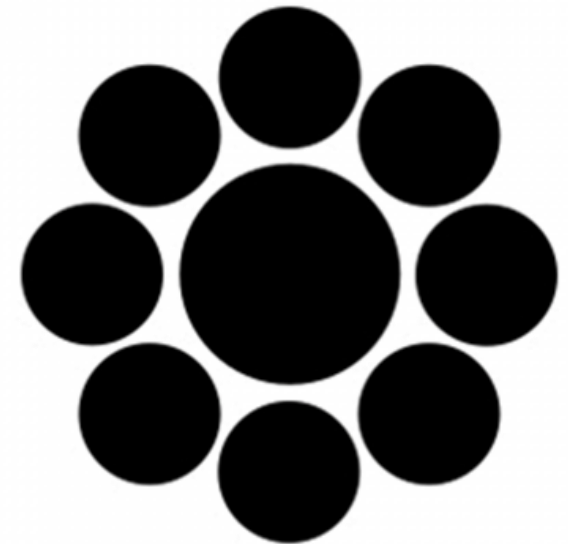
黒漆塗頭形兜・鳥毛頭立（Kuro Urushi-Nuri Zunari Kabuto・Torige Kashiradate）

特徴的な黒漆塗りと、優美な鳥毛の頭立を備えた頭形兜。その気品ある意匠は、忠興が併せ持つ勇猛な武将と千利休門下の優れた茶人という二つの側面を映し出すとともに、美しさと武具としての機能を一つの力強い造形のうちに調和させています。

家紋

九曜紋

九つの円は太陽、月、五惑星、そして日食や月食に関わる二つの交点を表しています。忠興は織田信長の小刀にあしらわれたこの文様を好み、家紋として用いることを許されたと伝えられています。この意匠には、星々の加護と、悠久の天上の秩序が重ねられています。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

9時 — 井伊直政（1561-1602）

勇猛さで恐れられた「井伊の赤備え」を率いた直政は、断絶しかけていた井伊家を再興し、のちに徳川四天王の一人に数えられました。関ヶ原の戦いでは赤備えを率いて先駆けの攻撃を行い、戦端を開きました。

直政は武勇だけでなく交渉でも卓越した手腕を示し、諸大名を東軍の味方につける重要な役割を担って、東軍の勝利を確かなものにしました。家康の家臣の中でも最大の恩賞を授けられ、後に有力となる彦根藩の礎を築きました。

兜

赤備えの兜・本金箔大天衝脇立

赤備えの兜・本金箔大天衝脇立 (Aka Zonae no Kabuto · Honkinpaku Dai-Tenshō Wakidate)

勇名をはせた「井伊の赤備え」を象徴する朱色の兜。左右には、金箔押しの大天衝脇立が高くそびえています。赤い装備は武勇を象徴し、武田軍の精強な赤備えの伝統を受け継ぐものでした。大ぶりの金色の脇立は井伊家当主にのみ許され、激戦のさなかでも当主の存在を際立たせました。

家紋

彦根橘紋

橘の花と実をかたどった家紋。橘は日本に自生する柑橘で、その常緑の葉は永遠を象徴します。伝説によれば、井伊氏の始祖が赤子の姿で見つけた井戸の傍には橘の木が立っていたとされます。このことから、井伊氏の起源はこの上なく縁起のよい木とされる橘と結び付けて語られるようになりました。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

10時 — 浅野長政（1547-1611）

豊臣秀吉と姻戚関係にあり、五奉行の一人でもあった長政。秀吉没後の不安定な政局のなか、長期的な安定を実現するには家康を支持することが最善の道だと見定め、豊臣から徳川へと主導権が移る危うい転換期を巧みに切り抜けました。

長政も平和の実現に力を尽くし、子孫はそのもとで繁栄しながら何世代にもわたって広島を治めました。

兜

水牛脇立付桃形兜

水牛脇立付桃形兜（Suigyū Wakidate-tsuki Momonari Kabuto）
両脇に巨大な水牛の角をかたどった脇立が備わる桃形兜。大きな角は力強さと不屈の精神を感じさせ、桃は古くから魔除けと結びつけられてきました。その威風堂々とした造形は、戦場で勇猛な武将の存在を強く印象づけました。

家紋

違い鷹の羽紋

二枚の鷹の羽を交差させたこの紋は、武勇と鋭い洞察力を象徴します。鷹が狙いを違えず獲物を仕留めるように、浅野家もまた確かな働きを示しました。



一味同心

兜という表象

立ち現れる武将の精神

江戸城

美を支えるキャリバーの妙技

匠が紡ぐ芸術

TIMEPIECE CARD

詳説

11時 — 加藤嘉明（1563–1631）

水軍戦の名将であった嘉明は、関ヶ原の戦いで東軍の先陣に加わり、その決定的な勝利に貢献しました。

戦後、その功により伊予松山を治めることとなった嘉明は、瀬戸内海が戦乱の舞台から平和な交易の大動脈へと変わるなかで、培ってきた海事の知見を生かしました。のちに、日本最大級の藩の一つである会津藩の藩主となりました。

兜

角頭巾形鳥尾飾兜

角頭巾形鳥尾飾兜 (Kaku Zukin-Nari Torio Kazari Kabuto)

角張った頭巾のような形をし、印象的な鳥の尾羽で飾られた珍しい兜。その造形は学識と実践的な統率力を思わせ、鳥の尾羽飾りは俊敏さと気高い風格を表しています。この特徴的な組み合わせは、知性と水軍での力量を兼ね備えた加藤嘉明の人物像を映し出しています。

家紋

下り藤

藤の花房が下へ垂れる姿を意匠化した家紋。藤は、日本の代表的な家紋意匠の一つで、名門藤原氏との結びつきで知られています。





ROGER DUBUIS

HORLOGER GENEVOIS

ロジェ・デュブイ ブランドストーリー

1995年の創立以来、時計界の常識に挑むアウトサイダーとして先駆けてきたロジェ・デュブイは、その独創的なアイデンティティと時計製造専門知識を斬新な解釈で融合し、卓越した作品を生み出してきました。高級時計の既存概念を打ち破るハイパーオロロジーを大胆な理念として掲げるメゾンは、その革新的なビジョンを駆り立てる喜びや自由、情熱を原動力にオートオロジュリーの未来の構想、設計、形成を目指す圧倒的な信念によって世界を席卷しています。製造プロセス全てを掌握する完全統合マニュファクチュールで製造されるロジェ・デュブイのキャリバー一つひとつが、最高峰のパフォーマンスと揺るぎない卓越性を制しています。伝統を重んじながらもコンテンポラリーな趣を湛えたジュネーブ・シール認証マスターピースは、先鋭技術と承継したクラフトマンシップを具象し、沸き立つような創造性と革新的な素材で年月を重ねるごとに新たなインスピレーションを纏っています。ロジェ・デュブイは、アバンギャルドで大胆なエネルギーを原動力に、そのコレクションを特別な顧客と友人たちのために提供しています。



Manufacture Roger Dubuis, Branch of Richemont International SA
rue André-De-Garrini - CP 149 - CH 1217 Meyrin 2 Genève - +41 (0)22 808 48 800 WWW.rogerdubuis.com